

さいたま知っ得予算

- さいたま市の予算と財政状況 -

平成 22 年度



さいたま市の

- ・平成 22 年度予算
- ・財政状況

についてわかりやすく解説します！

目次

【予算編】さいたま市の平成 22 年度予算 ~さいたま市のお金の使いみちは？~

- ・予算って何？ 2
- ・予算はどうやって決めるの？ 2
- ・会計には種類があるの？ 2
- ・収入と支出の内訳は？ 3
- ・さいたま市の予算を家計に例えると？ 6
- ・どのような事業に取り組むの？ 7

【財政状況編】さいたま市の財政状況 ~さいたま市のフトコロ事情は安心？~

- ・収入の状況は？ 8
- ・支出の状況は？ 9
- ・貯金の残高は？ 10
- ・市が借りているお金はいくらあるの？ 11
- ・さいたま市のフトコロ事情は安心？ 12
- ・フトコロの体力測定 12
- ・今後の財政見通し 12

はじめに ～さいたま市の財政に興味ありませんか？～

「財政」や「予算」という言葉をきくと、「興味ない」、「なんだか難しそう」、「わかりにくそう」なんて感じていませんか？ でも予算は、市民の皆様が納めていただいている税金の使いみちであり、市民生活に密接に関わっています。

本冊子「さいたま知っ得予算」は、財政に興味のない方でも「知って得する」内容を目指して作成しました。ぜひ手に取り、皆様の税金がどのように使われているのか、さいたま市の財政状況はどうなっているのかをお確かめください。

そして、これをきっかけに行政サービスの利用につなげていただいたり（知って得した！）、市政に一層の関心を持っていただき、市の課題を共に考え、市民の皆様と力を合わせてよりよいまちづくりを進めていくことができたら幸いです。

「知っ得予算」の特徴と構成

(1)特徴

図やイラストを活用して解説

…「知っ得予算」は、法律で定める通常の予算書では伝わりにくい予算の具体的な内容を、図やイラストを活用して解説しています。



年度推移や他市との比較がグラフで一目瞭然！

…さいたま市の財政状況について、年度推移や他市との比較をグラフで示すことにより、現在のさいたま市の「位置」を客観的に理解しやすい内容になっています。

(2)構成

「知っ得予算」は、大きく分けて「予算編」と「財政状況編」の2部構成となっています。

平成22年度に取り組む事業の内容については「予算編」、皆様が納めていただく市税をはじめとした市の収入の状況や市が借りているお金などの財政状況については「財政状況編」をご覧ください。

P.2～7
予算編

さいたま市の平成22年度予算 ～さいたま市のお金の使いみちは？～



「予算ってそもそも何？」

P.2 ・予算って何、
・予算はどうやって決めるの？



「財政って難しそう、家計簿
みたいならいいのに」

P.6 ・さいたま市の予算を家計に
例えると？



「さいたま市はどんな事業
に取り組んでいるの？」

P.7 ・平成22年度はどのような
事業に取り組むの？

P.8～12
財政状況編

さいたま市の財政状況 ～さいたま市のフトコロ事情は安心？～



「さいたま市が借りているお金
はいくらくらい？」

P.11 ・市が借りているお金はいくら
あるの？

1. さいたま市の平成22年度予算 ~さいたま市のお金の使いみちは? ~

予算って何?

...さいたま市の1年間の収入(歳入)と支出(歳出)の見積もりです。



予算を見れば、この1年間、どのくらいの収入が見込めて、何にいくら使うのかが分かります。私たちが納めている税金は、国、県、市の収入となり、さまざまな行政サービスに使われています。国や地方自治体は、新しい年度が始まる前に、あらかじめ税金などの収入と行政サービスに使う支出の金額を見積もって、事業の内容などを計画します。この見積もりが「予算」です。

決算とは? ...さいたま市の1年間の収入(歳入)と支出(歳出)の実績を決算といいます。

予算はどうやって決めるの?

...市長が予算案をつくり、議会の審議を経て決まります。



予算を決めるのは、私たち市民が選挙で選んだ市長と市議会議員です。市役所の税金を預かる部署などは、景気の動向などを踏まえて、翌年度の収入額を見積もります。また、事業を行う各部署は、市民からの意見や要望を聴き、地域の状況などを見ながら、「今、どのような行政サービスを行うべきか」「この地域で行うべき事業は何か」と、翌年度に行う事業の内容を検討します。

市長は、さいたま市総合振興計画などの市の計画をもとに、各部署で検討された案に私たちの生活の状況に合わせて新たな事業を加えたり、内容を見直す一方で、財源の確保も工夫しながら予算案をまとめ、市議会に提案します。

市議会では、市民の声を代表する市議会議員が、さまざまな議論を行いながら予算案を審議し、最終的に予算が決まります。

会計には種類があるの?

...予算は、どの収入がどこに使われているのか、収入と支出の関係をはっきりさせるために、3つの会計(一般会計、特別会計、企業会計)に区分しています。

<さいたま市の平成22年度の予算>

全会計	7,228億円 (6,773億円)	前年度比 (6.7%増)	
一般会計	4,290億円 (3,912億円)	前年度比 (9.7%増)	教育、福祉、医療や道路・公園の整備など市の基本的なサービスを行う会計
特別会計	1,845億円 (1,746億円)	前年度比 (5.7%増)	国民健康保険や介護保険のように、対象者が限られるなど、一般会計と区別する必要がある事業の会計(17事業)
企業会計	1,093億円 (1,115億円)	前年度比 (2.0%減)	民間企業と同じように、事業収益でまかなわれている会計(水道、病院、下水道の3事業)

()内は前年度

この他にも、自治体間の財政状況を比較するときに用いる「普通会計」とよばれる会計があります。(詳しくはP.8)

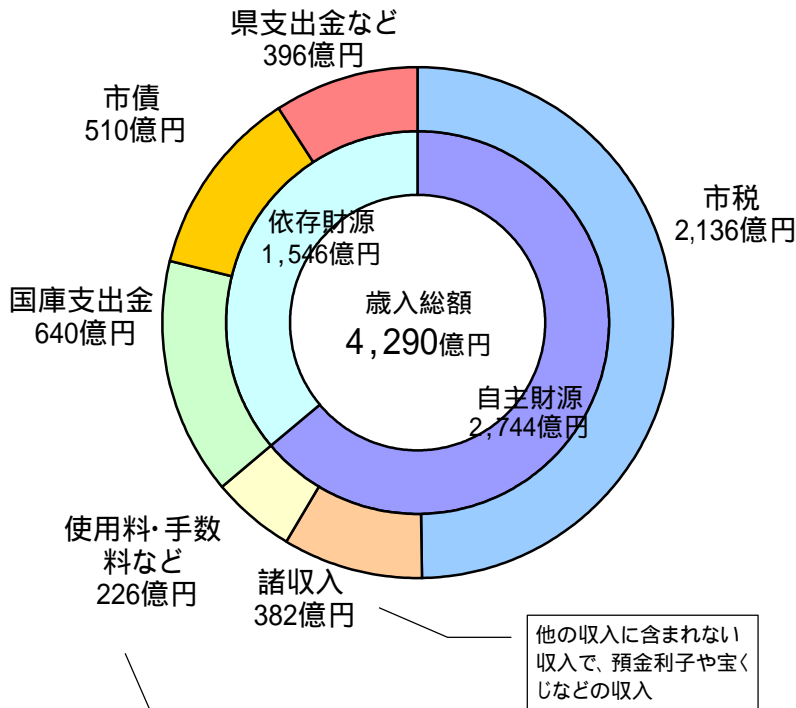
収入(歳入)と支出(歳出)の内訳は？

(1)一般会計の収入(歳入)

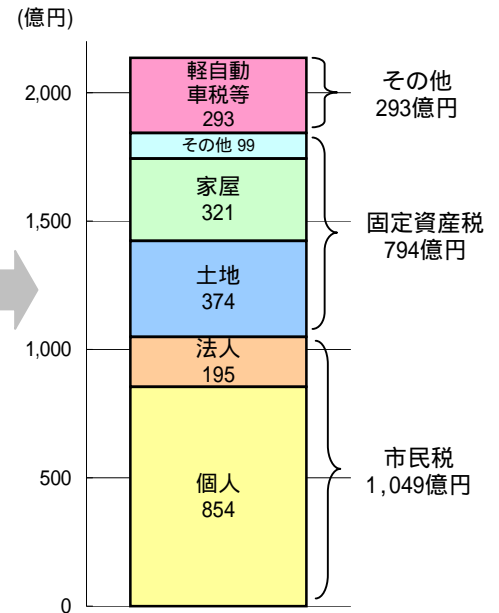
一般会計の収入(歳入)には、市税のほか、国や県から配られるお金や借入金(市債)など、さまざまなものがあります。これら収入は、地方自治体が国や県に依存しないで自主的に収入できるかどうかで、「自主財源」と「依存財源」に分類することができます。

自主財源には、市税、使用料及び手数料などが、依存財源には、国庫支出金、市債、地方交付税などがあります。自主財源である市税などが多いほど、自主的な財政運営ができることとなります。

H22 さいたま市歳入の内訳



市税の内訳



- ・使用料・手数料
公共施設の使用料、戸籍謄本や住民票などの発行手数料などの収入
- ・国庫(県)支出金
国(県)が必要だと認めた事業に対して、国(県)から交付されるお金
- ・市債
長い間利用される市の施設をつくる時などに、借り入れるお金

ポイント
さいたま市の歳入は、その約半分を市民の皆様の税金でまかなっており、市税の半分は市民税という構成になっています。

ちょっと一息

宝くじは埼玉県内の売り場で！

埼玉県内で売れた宝くじの一部は、さいたま市の収入となり、さまざまな事業に活用されています。ぜひ宝くじは埼玉県内の宝くじ売り場でご購入ください！

平成20年度宝くじ収入
37億8,500万円
(諸収入の約1割！)



さいたま市の宝くじ収益金は、少子化対策などに役立っています。

- ・子育て支援医療費助成事業
- ・放課後児童健全育成施設整備事業 …etc

(2)一般会計の支出(歳出)

一般会計の支出(歳出)は、子育て、教育、商業振興など行政目的ごとの事業費を積み上げた「目的別歳出」と、人件費、建設費など経費の性質ごとに分類した「性質別歳出」の2つの視点から見ることができます。

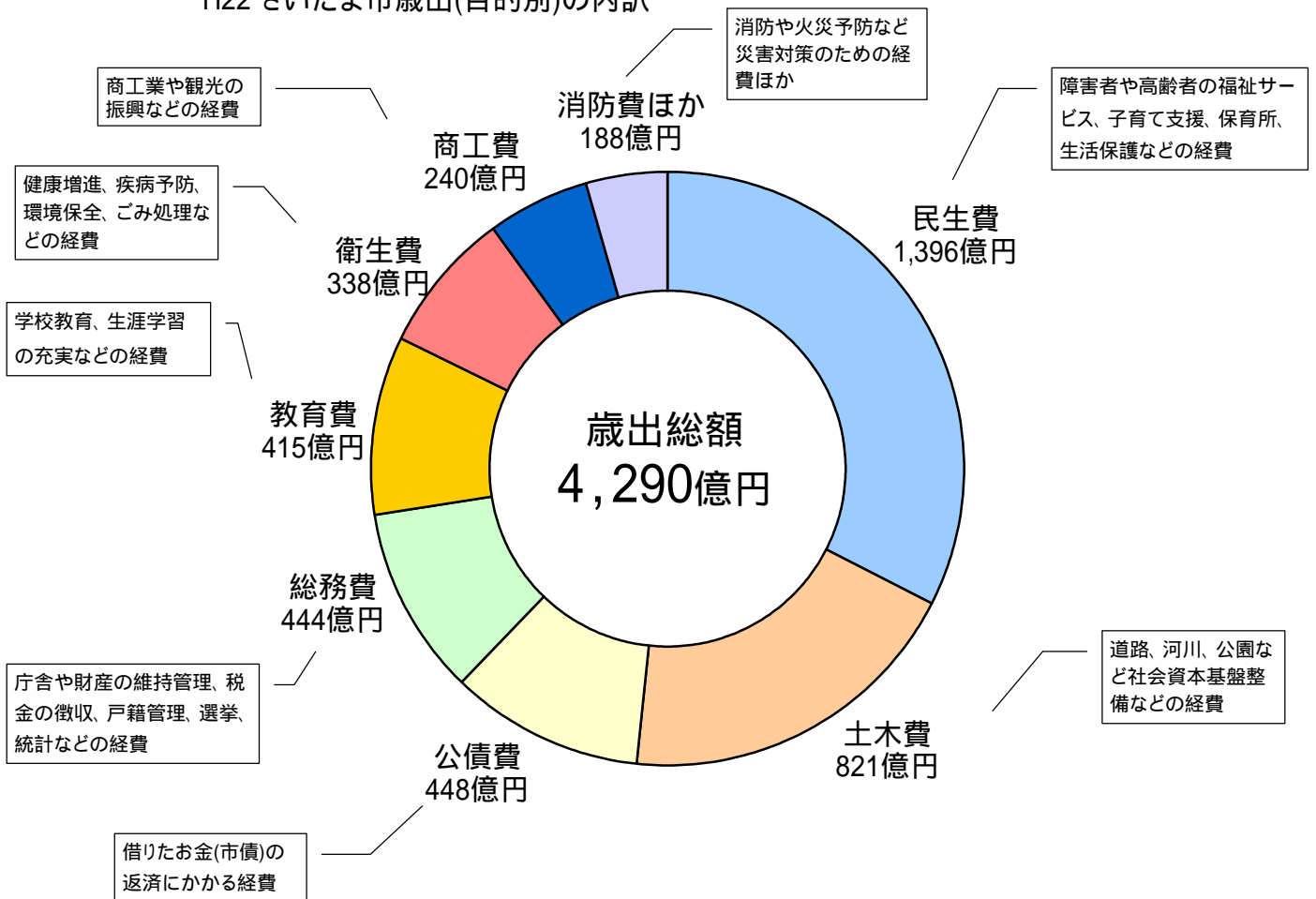


「教育費はどのくらいかかっているんだろう?」というのは目的別歳出、「人件費はどのくらいかかっているんだろう?」というのは性質別歳出を見れば分かるんだ。

目的別歳出

支出の内訳について、子育て、教育、商業振興など行政目的ごとにどれだけ使うのかを定めています。

H22 さいたま市歳出(目的別)の内訳



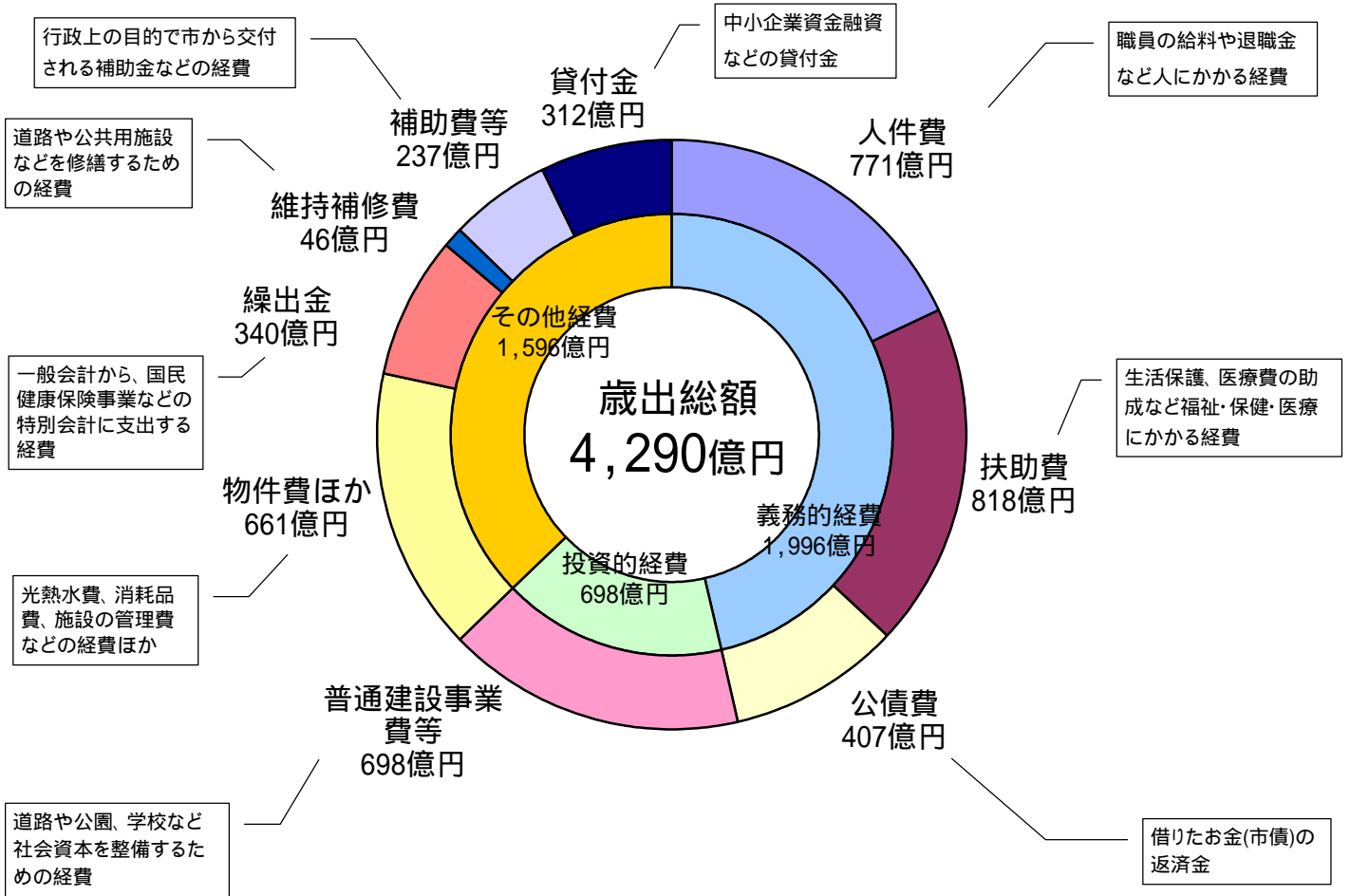
ちなみに...
 平成22年度の歳出総額4,290億円を市民1人あたりにすると、
355,530円 となっています。
 (平成22年1月1日現在の住民基本台帳登録人口 1,206,649人で試算)

性質別歳出

支出の内訳は、人件費や建設費など、経費の性質ごとにどれだけ使うのかも見ることができます。

このうち、人件費、扶助費、公債費の3つを合わせた経費を「義務的経費」(毎年必ず支出が必要となる固定的な経費)、また、道路、橋、公園、学校、公営住宅の建設など社会資本の整備に要する普通建設事業費等の経費を「投資的経費」とよんでいます。

H22 さいたま市歳出(性質別)の内訳



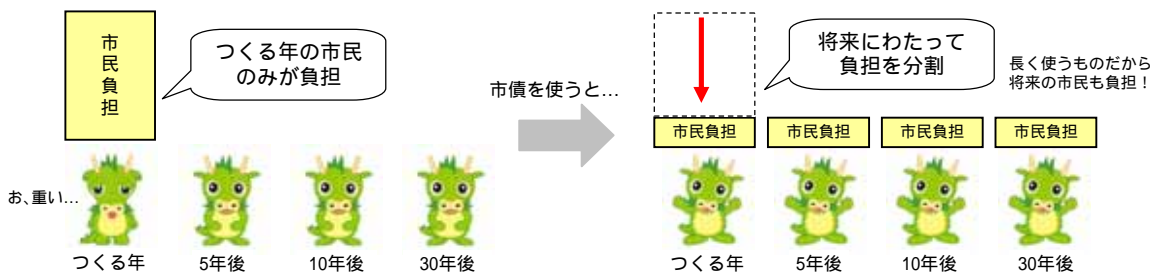
ちょっと一息

どうしてお金を借りるの？



道路や学校などの施設は、つくる年だけでなく、将来にわたり次の世代の市民にも使われます。

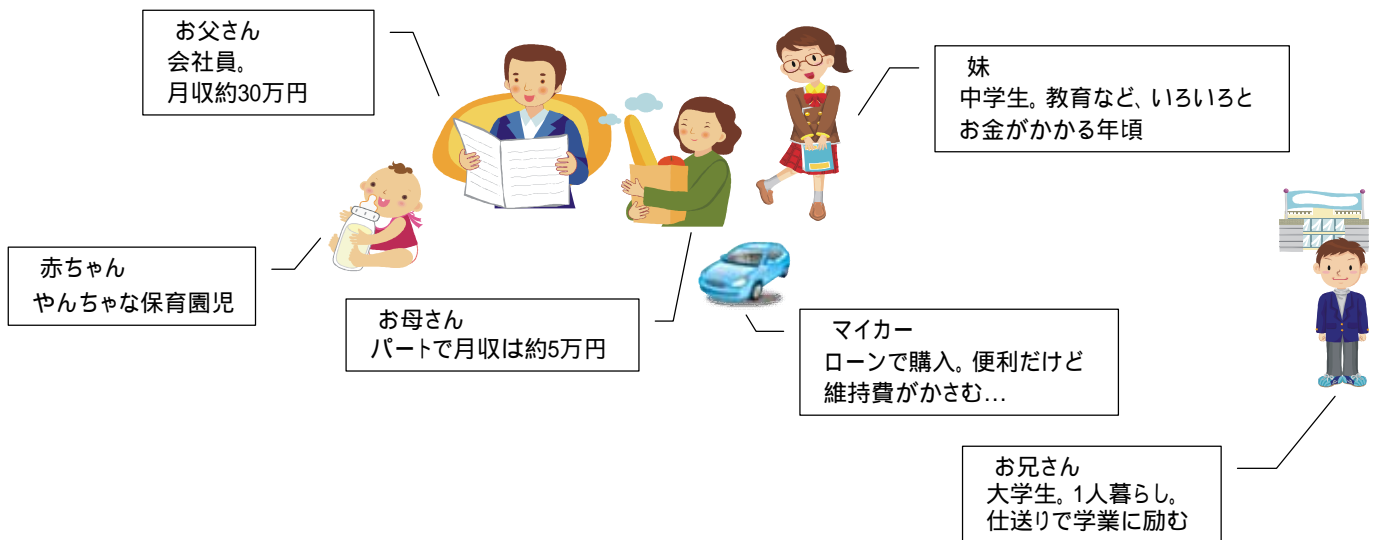
そのため、つくる年の市民だけに建設費を負担してもらうのではなく、次の世代の市民にも公平に負担してもらうため、借金をすることにより「分割払い」としています。



さいたま市の予算を家計に例えると？

市の予算は数字が大きすぎて実感がわかないかもしれません。そこで、さいたま市の一般会計予算を年間の収支が500万円の家計に置き換えてみました。

食費(人件費)、家族の医療費(生活保護など扶助費)、ローン返済(公債費)の3つは義務的経費とよばれ、一般家庭のエンゲル係数(家計における食費の占める割合)と同様、これが高いと家計に余裕がないことを意味しています。(平成22年度の義務的経費の占める割合は、46.5%です)



《収入》			《支出》		
現金の収入	年間 ()内は月	構成比	現金の支出	年間 ()内は月	構成比
給料	370万円 (308,092円)		食費 (人件費)	90万円 (74,888円)	18.0%
<ul style="list-style-type: none"> ・本給(市税) ・諸手当 (地方譲与税、地方交付税、 国・県支出金等) 	249万円 (207,500円)	49.8%	家族の医療費・保育料 (扶助費)	95万円 (79,474円)	19.1%
	121万円 (100,592円)	24.1%	ローンの返済 (公債費)	47万円 (39,460円)	9.4%
パート収入 (使用料・手数料ほか)	59万円 (48,890円)	11.8%	光熱水費、衣料費など (物件費ほか)	103万円 (85,441円)	20.5%
貯金の取り崩しなど (繰入金)	12万円 (10,112円)	2.4%	子どもへの仕送り (繰出金)	40万円 (33,075円)	7.9%
1年間で組む予定のローン			車の維持費 (維持補修費)	6万円 (4,504円)	1.1%
家のリフォームをする ためのローン (市債)	59万円 (49,572円)	11.9%	貸付金、貯金など (貸付金、積立金ほか)	38万円 (32,019円)	7.7%
収入計	500万円 (416,666円)	-	今年予定している大きな買い物		
			家のリフォーム (普通建設事業費)	81万円 (67,805円)	16.3%
			支出計	500万円 (416,666円)	-

ローン残高 ... 471万円(市債残高4,043億円を換算)

平成22年度はどのような事業に取り組むの？

平成22年度予算編成は、景気の低迷により約74億円という市税収入の大幅な減収に加え、生活保護費など社会保障費の増加が見込まれ、大変厳しい中での編成となりました。

このような状況の中、すべての事業についてゼロベースでの見直しを行い、市民生活を重視した次のような事業に取り組んでいくこととしました。

子育て・教育



認可保育所の整備・認可外保育所の運営費補助

「待機児童ゼロ」に向け、認可保育所、ナースリールーム・家庭保育室の定員を約890人増やします。

土曜チャレンジスクール(どちゃれ)

地域の住民やボランティアなどと連携し、児童生徒の自主的な学習をサポートする「さいたま土曜チャレンジスクール(どちゃれ)」を、30校で実施します。

高齢者福祉



地域包括支援センターの年中無休化

介護予防プランの作成や地域の高齢者のさまざまな問題に対応する「地域包括支援センター」を年中無休化(年末年始を除く)し、いつでも相談に応じます。

環境



E-KIZUNAプロジェクト

～電気自動車(EV)の普及拡大を目指します～

- ・ 公用車としてEV車12台を新たに各区役所に配備
- ・ 各区役所にEV専用の充電設備を整備
- ・ スーパーや民間駐車場などに充電設備を設置する際、1基あたり約87万円を補助
- ・ 公共交通などの事業者がEV車を購入する際、上限30万円を補助

宅配食事サービスの拡充

ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯への宅配食事サービスを、週4回から週5回に拡充します。

(仮称)シルバー元気応援ショップ制度の創設

65歳以上の高齢者に市が配布しているシルバーカードを提示することで、市内店舗で割引などの優待が受けられます。

市民生活



タウンミーティングの開催回数の拡大

市民と市長が直接対話するタウンミーティングを各区2回、計20回実施します。

経済活性化対策



中小企業資金融資枠の拡充

市内中小企業者の経営の安定を図るため、低利の融資枠を拡充します。

ホームヘルパー2級資格取得支援



ホームヘルパー2級の資格を取得するための講座受講料を、2万円を上限に補助します。

コンビニエンスストアでの市税収納の開始

コンビニで給与天引き以外の住民税や固定資産税、都市計画税、軽自動車税が納められるようになります。

このほかにも市ではさまざまな事業に取り組んでいきます。

また、父親が一日保育士を体験する事業を予算をかけずに取り組むなど、少ない予算でも知恵と工夫で大きな効果を目指しています。



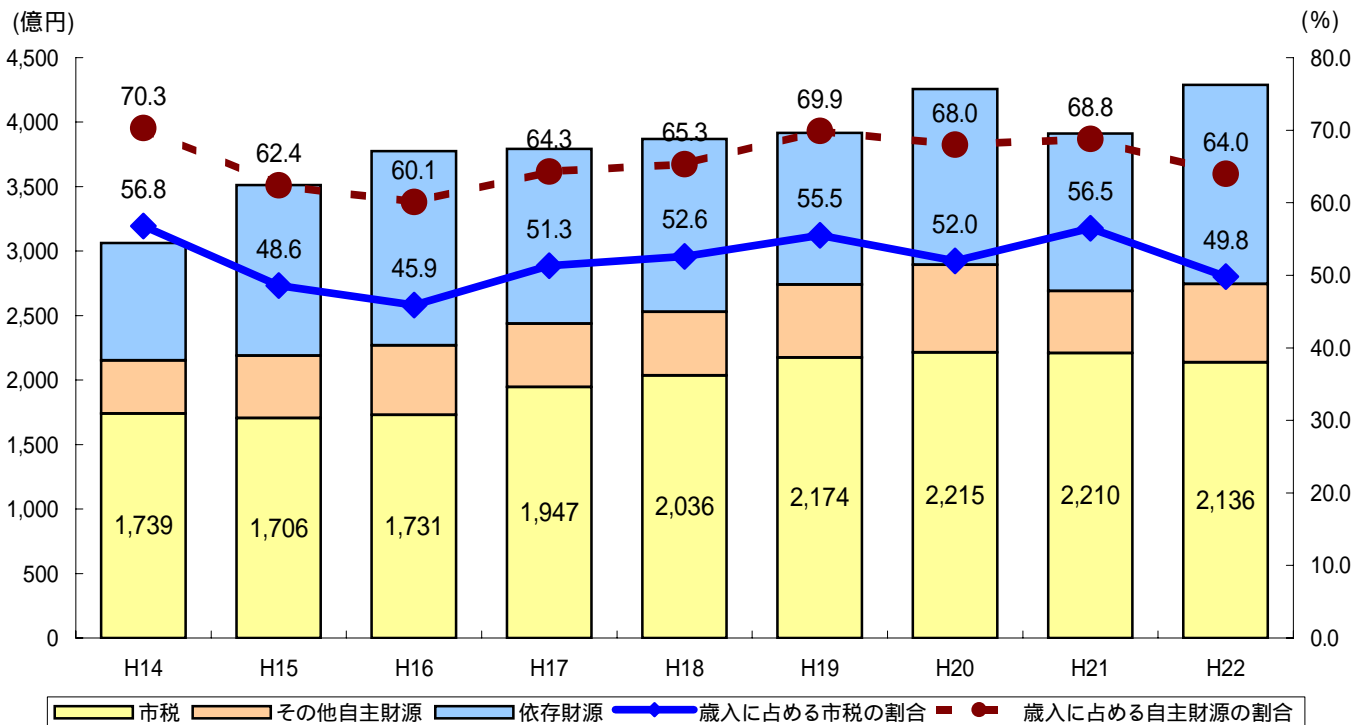
2. さいたま市の財政状況 ~さいたま市のフトコロ事情は安心?~

収入の状況は？

収入(歳入)は、市税や使用料、手数料など地方自治体が国や県に依存しないで自主的に収入することができる「自主財源」と、国庫支出金、市債、地方交付税など自主的に収入できない「依存財源」に分類され、自主財源である市税などが多いほど、自主的な財政運営ができることになります。

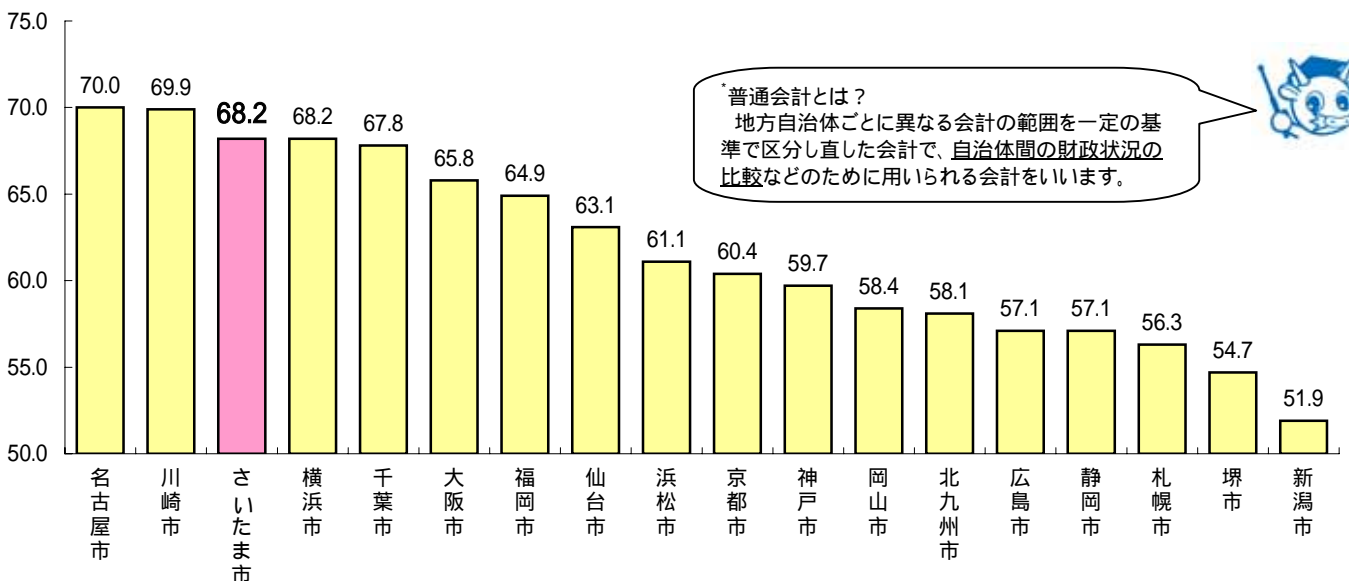
さいたま市の歳入の約半分を占める市税収入は、平成16年度以降5年連続で増加していましたが、景気の悪化の影響により平成21年度から減少しました。今後も自主財源が占める割合は減少傾向にあります。

自主財源の推移(～H20:決算額 H21～:当初予算額)



政令指定都市の自主財源比率(歳入に占める自主財源の割合)の比較(H20:普通会計*)

(%) さいたま市は政令指定都市の中で3番目の水準にあり、比較的自主的な財政運営が可能といえます。

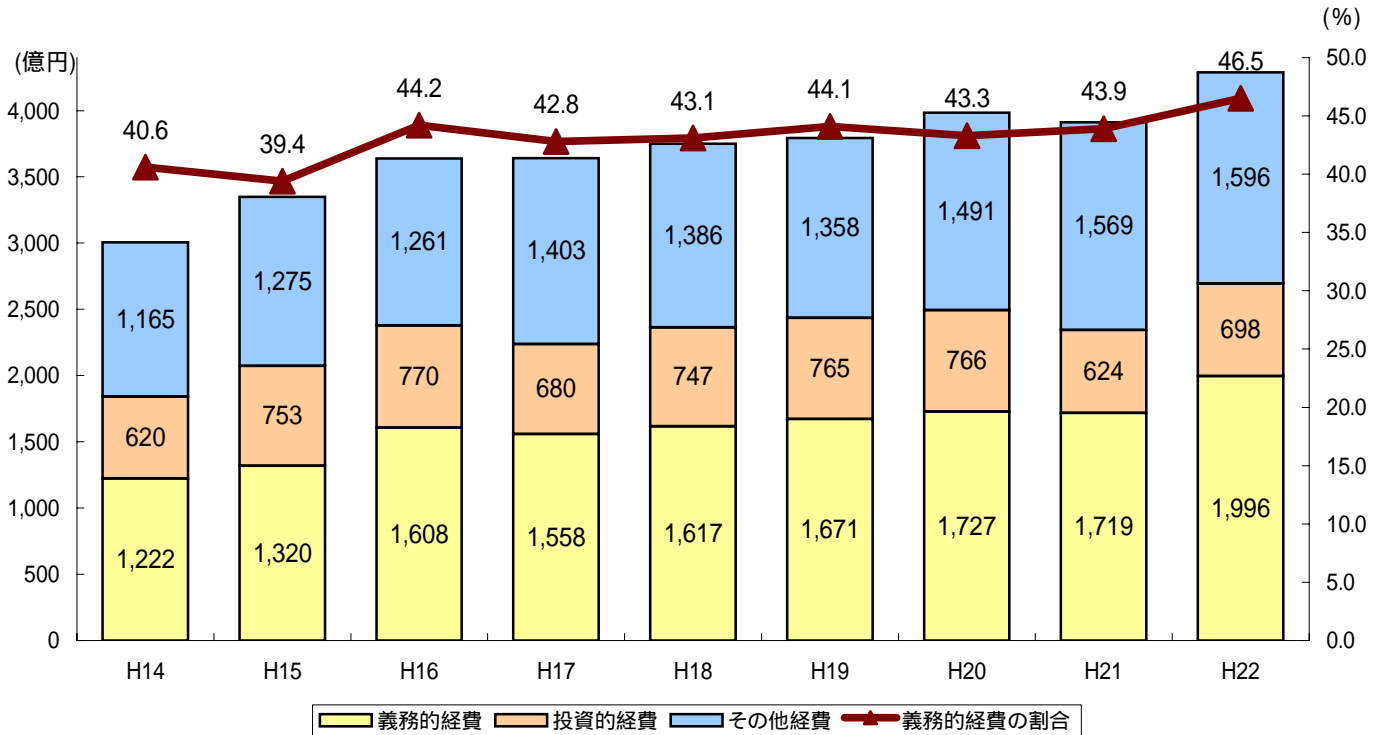


支出の状況は？

支出(歳出)のうち、人件費・扶助費・公債費の3つを合わせた義務的経費が年々増加しています。特に扶助費については、少子高齢化に伴う福祉や医療にかかる費用の増加や景気の悪化による生活保護費の増加などの影響により大きく増えており、今後もこの傾向は続く見込みです。

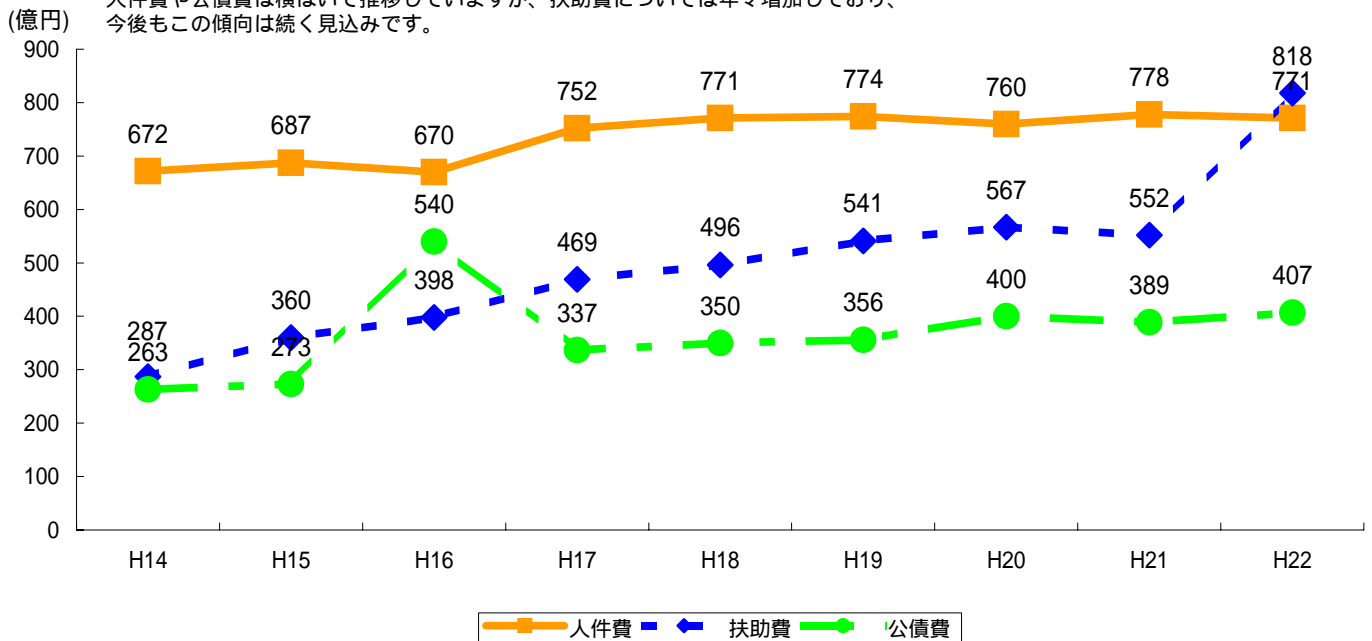
義務的経費は、収入が減ってもそれに合わせて簡単に減らせるものではありません。そのため、収入が増えない中で義務的経費が増えると、新しい事業への投資に使えるお金が少なくなります。

性質別歳出の推移(～H20:決算額 H21～:当初予算額)



義務的経費の推移(～H20:決算額 H21～:当初予算額)

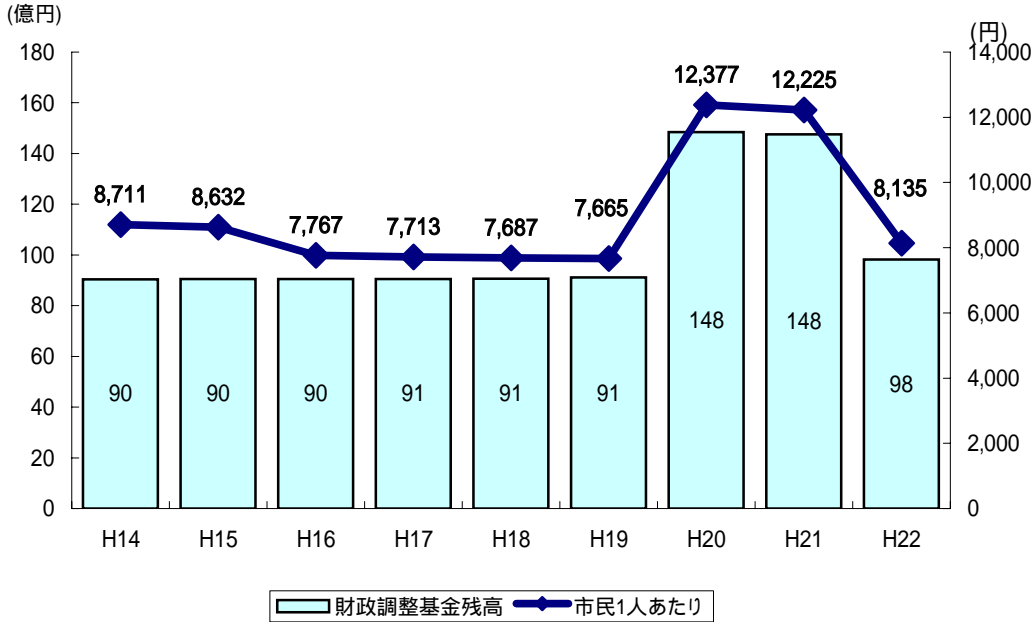
人件費や公債費は横ばいで推移していますが、扶助費については年々増加しており、今後もこの傾向は続く見込みです。



貯金の残高は？

経済情勢の変動による財源不足や災害発生など緊急に支出が必要な場合に備え、貯金しています。

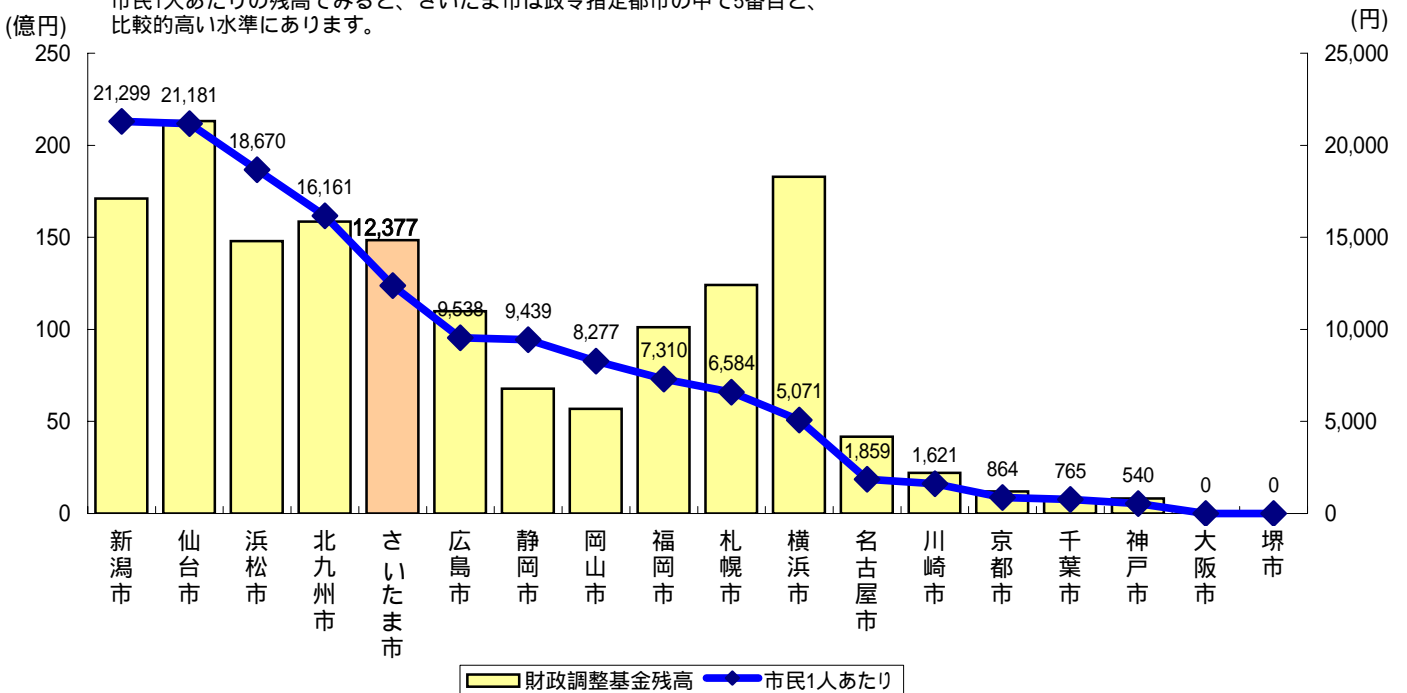
貯金(財政調整基金^{*})残高の推移(～H20:決算額 H21、22は見込み)



財政調整基金とは？
年度間の財源の不均衡などを調整するための基金です。財源に余裕のある場合や、決算剰余金が発生した場合に積み立てます。

政令指定都市の財政調整基金残高の比較 (H20:普通会計)

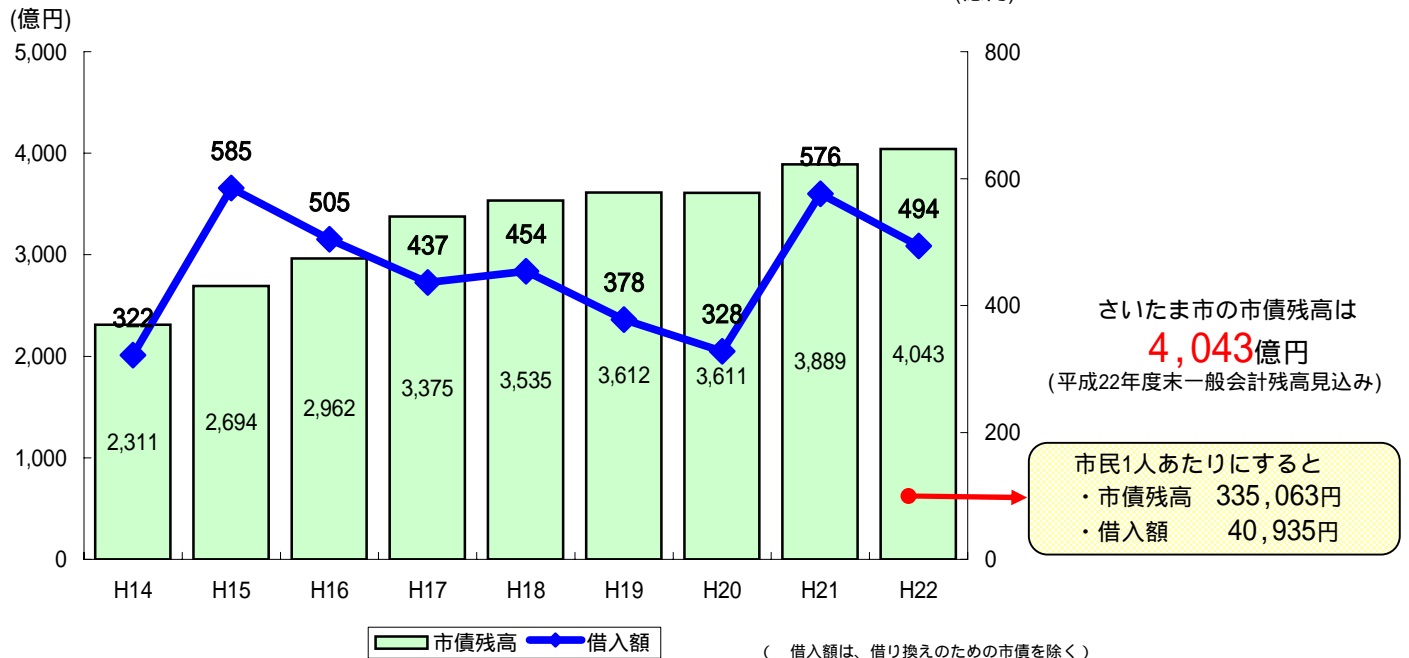
市民1人あたりの残高で見ると、さいたま市は政令指定都市の中で5番目と、比較的高い水準にあります。



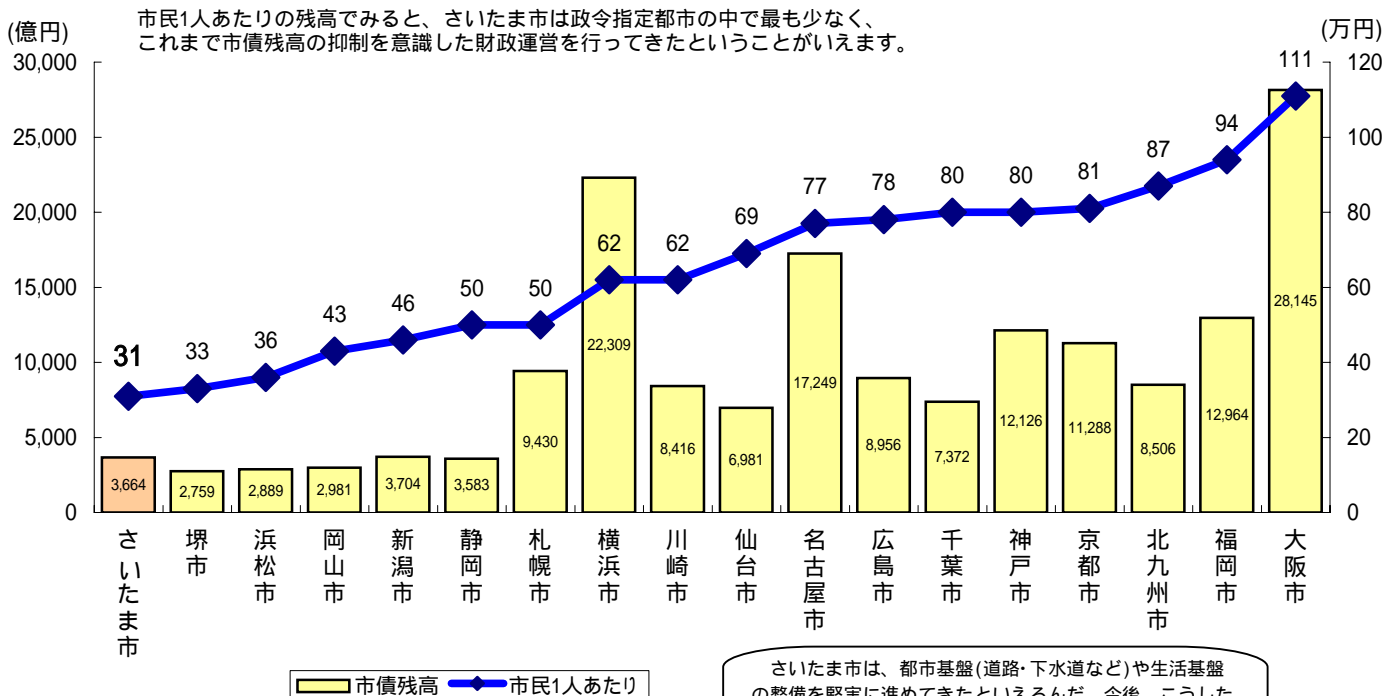
市が借りているお金はいくらあるの？

さいたま市が借りているお金は4,043億円（市民1人あたりにすると335,063円）となっています。

市債残高及び借入額の推移（～H20:決算額 H21、22は見込み）



政令指定都市の市債残高の比較（H20:普通会計）



さいたま市は、都市基盤(道路・下水道など)や生活基盤の整備を確実に進めてきたといえるんだ。今後、こうした整備をより積極的に進めると、市債の残高が増えていく可能性があるね。



さいたま市のフトコロ事情は安心？



地方財政の財政悪化を背景に、「地方団体の財政の健全化に関する法律」が平成19年6月に成立しました。この法律は、地方自治体の財政状況を客観的な指標でチェックして、悪化している団体を確実に健全な状態にしていくことを目的とします。

さいたま市は、将来世代への責任を果たせる健全な財政運営の維持を図る取組をしてきたことにより、平成20年度決算に基づいて算出した健全化指標は、すべて国が定めた基準をクリアしており、健全であるといえます。

<平成20年度決算に基づく財政健全化指標>

指標		解説	さいたま市	早期健全化基準 ¹	財政再生基準 ²
健全化判断比率	実質赤字比率	財政規模に対する一般会計等の赤字の割合	- (赤字なし)	11.25%	20%
	連結実質赤字比率	財政規模に対する全会計の赤字の割合	- (赤字なし)	16.25%	40%
	実質公債費比率	財政規模に対する1年間で支払った借入金返済額等の割合	7.9% (政令市中2位)	25%	35%
	将来負担比率	財政規模に対する将来市が支払う借入金返済額等の割合	60.6% (政令市中1位)	400%	
資金不足比率		公営企業ごとの事業規模に対する資金不足額の割合	-	20%	

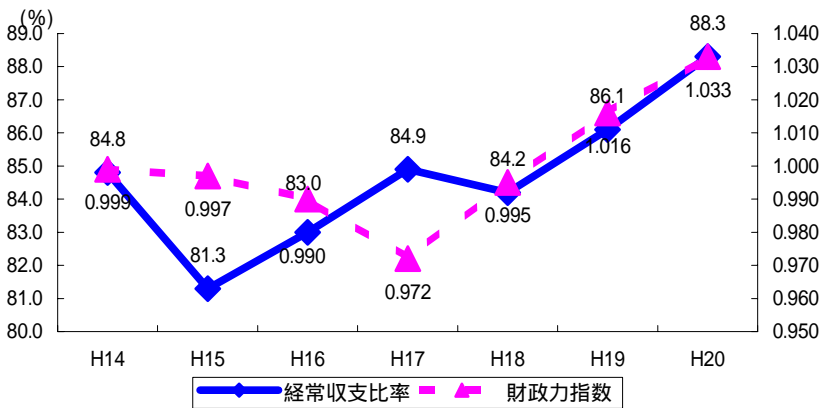
¹ この基準以上となった場合、自主的な改善努力を図るため、財政健全化計画を策定する。

² この基準以上となった場合、国の関与による確実な再生を図るため、財政再生計画を策定する。

<測定結果>
どちらも低い水準で健康です

フトコロの体力測定 ~ 財政の健全性を測定 ~

経常収支比率と財政力指数の推移 (~ H20:普通会計決算)



経常収支比率（市税などの継続的に見込める収入が、節約の難しい義務的な支出にあてられている割合）

88.3%（政令市18市中 **3位**）

財政力指数（標準的な行政を行うためのお金を自らまかなえる割合）

1.033（政令市18市中 **3位**）

政令市平均を40歳とすると、さいたま市は**25歳**

（経常収支比率の政令市平均(94.3)を40歳、第1位の浜松市(86.1)を20歳として試算）



今後の財政見通し ~ より安定的な財政へ向けて ~

これまでさいたま市は、歳出削減への積極的な取組や、安定した市税収入を確保することなどにより、他市に比べ堅実な財政運営を行ってきました。

しかしながら、景気の悪化による市税収入の減など自主財源は減少傾向にあり、支出では福祉や医療など義務的な経費が増加傾向にあります。

安定的な財政を維持するためには何が必要？

より少ない予算でより大きな効果を上げられるよう、事業のやり方を見直すことなどが必要です。

さいたま市では、平成22年度中に「(仮称)行財政改革推進プラン」を策定し、将来にわたっても安定的な財政を維持していくべく行財政改革に取り組んでいくこととしています。

もっと詳しく知りたい方は、次の冊子やホームページもご覧ください。

(冊子は区役所の情報公開コーナーで閲覧することができます)

【予算案の概要】

予算案を発表したときの資料です。

【平成22年度当初予算編成過程 ～情報公開日本一を目指して～】

予算編成における意思決定過程をわかりやすく公表した資料です。

【さいたま市の財政状況】

予算・決算など市の財政事情を市民の皆様にお伝えする冊子です。毎年6月と12月の年2回発行しています。

【企業会計的手法による財政状況】

発生主義を活用し、複式簿記の考え方を導入した公会計(民間企業に近い会計)に基づき作成した貸借対照表等の財務書類です。

これらの冊子は、ホームページでもご覧になれます。 <http://www.city.saitama.jp/index.html>
(さいたま市役所のトップページから、「政策・財政」「予算」または「財政状況」へとお進みください)

【さいたま知っ得予算(平成22年度)】 平成22年4月

編集発行 / さいたま市財政局財政部財政課

TEL 048-829-1153 ~ 1155